山本りか 県議会通信

JCP With You

2022・4・9　第42号　　発行：三重県議会・日本共産党

一見知事は「『強じんな美（うま）し国』を目指し、三重を前に進める予算」とする2022年度当初予算8194億円他71議案を議会に上程しました。

3月24日、本会議、山本りか県議は「やさしい県政あってこそ強い暮らしや営業となり、他人を踏みつけにしない美しさになる」「見通しの甘い大型開発の失敗によって、市町、県民・市民に後処理の負担を背負わせている」として、一般会計予算など15議案に反対の討論をしました。

2022年度予算他審査

やさしい県政あってこそ 暮らし 強い経済つくる

討論動画などは、山本県議FB,三重県議会HP,日本共産党三重県議団HPからご覧いただけます

評価できること　（主なもの）

◎35人学級実現　国の1年前倒し
　小学校4年生まで
◎スクールカウンセラー
　スクールソーシャルワーカーの配置時間増
◎スクールサポートスタッフを全校配置
◎部活指導員増・高校の外部指導者派遣
◎全県立高校　「生理の貧困」対策
　生理用ナプキンの女子トイレ配備継続
◎国民健康保険
　未就学の子どもの均等割り保険料減免
◎保育士加配への補助拡充
◎ヤングケアラー実態調査
◎県有施設照明のLED化
◎河川堆積土砂撤去樹木伐採　昨年比2割増
◎看護（一部）・介護職賃金値上げ補助
◎通学路安全対策　昨年比2.27倍（1月補正含）
◎横断歩道･道路標示塗り替え　（1月補正含）
　信号（LED・柱）更新　昨年比1.26倍
◎フードシェアリングサービス導入
◎ドローンによる不法投棄等の未然防止
　など

新型コロナ感染症陽性確認が減少傾向にあるとはいえ収束が見えません。感染防止対策と医療提供体制の拡充と共に、傷ついた暮らしを支援し経済の再生や活性化につなげるには、先ず何より県民の「いのちとくらし」が最優先。

県民の「いのち・くらし」あってこその消費活動、経済です。

PCR社会的検査の幅広い継続と、小手先の経済支援やインバウンド頼みの観光施策ではなく、雇用の安定と賃金の底上げ、第一次産業への支援から始めなければなりません。

問題ありと反対　（主なもの）

●新型コロナで逼迫した医療体制なのに「病院ベッド数削減」計画
●「みえ30人学級の25人下限条件」は19年間矛盾を放置
●県立高校「一人一台タブレット」保護者負担（全国では21県で公費）
●全国学力学習調査　三重スタディ・チェック　過度に競争的でストレス多い（国連）
●課題多い「リニア中央新幹線」推進
●四日市コンビナートカーボンニュートラルへの取り組み　会議非公開は問題
●国民健康保険　高すぎる保険料下げよ
●会計年度職員（公的非正規職員）のボーナスカット
●鈴鹿青少年の森・青少年センターの20年にわたる民間事業者導入
●「あったかDX」への道筋見えず独自性壊す自治体システム標準化
●信用できない「マイナンバー」推進
●同和中心の人権センターの在り方
　など

3/2 全会一致

国際平和や安全を著しく脅かし、断じて容認できない暴挙。
強く非難されるべき。軍を無条件で撤退させるよう強く求める

ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議

駐日ロシア大使、岸田文雄首相、林芳正外相に決議文を送付

それはダメでしょ

『県立看護大学の学費・入学料・検定料を議会の議決を経ずに値上げ』

地方独立法人法により公立大学法人が徴収する料金を引き上げる場合には、議会の議決を要する。

医療健康子ども福祉病院常任委員会では、既に値上げ一部徴収していることの説明がなく委員会可決し、その後に発覚、再審査することになった。

部長から「誤解、連携不足」との説明と謝罪があり、委員からは「不適切な事務処理」と指摘するも値上げは認めた。徴収済みの差額は返金するとした。

どこに問題があったのか大学責任者も呼んで確認すべきであるがそこまで踏み込んだ審査はせず。

24日、本会議採決で、山本県議と、稲森県議は、「議会軽視・委員会審査にも問題あり」と反対した。

ご相談・ご意見・ご要望はこちらへ＊
お気軽に相談を
三重県議会内
日本共産党控室
☎ 059-224-3302
日本共産党　北勢地区委員会
四日市市新正4 - 21-11
☎ 059 - 351-8184

✉ rikachan@cty-net.ne.jp

全会一致　女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

日本は「ジェンダーギャップ指数」が156か国中120位。なかなか男女差が埋まりません。特に経済・政治参加部門での順位が低くなっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、配偶者等からの暴力や性暴力の増加・深刻化の懸念や、女性の雇用、所得への影響等が顕在化しています。選択議定書の批准は、女性の人権侵害の救済と人権の保障をより強化し現状を変える重要な第一歩です。

選択議定書は、現時点で条約締約国189か国中114か国が批准していますが、残念なことに日本政府は、これを批准していません。

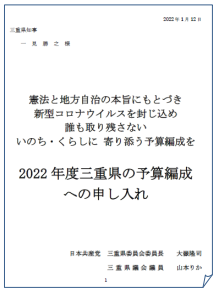
政府の第5次男女共同参画基本計画では「選択議定書については、諸課題の整理を含め、早期締結について真剣な検討を進める」と記載されています。具体的な取組を加速する必要があります。

三重県議会は、国に対し、男女共同参画社会の実現に向け我が国の司法制度や立法政策との関連での課題等を早急に解決し、女性差別撤廃条約選択議定書を速やかに批准するよう強く要望します。「全会一致」は喜ばしいことです。

ジェンダーギャップ指数2021

120位／156カ国

経済 117位　政治 147位　教育 92位　医療 65位


三重県知事
一見勝之 様

2022年1月12日

憲法と地方自治の本旨にもとづき
新型コロナウイルスを封じ込め
誰も取り残さない
いのち・くらしに 寄り添う予算編成を

2022年度三重県の予算編成
への申し入れ

日本共産党　三重県委員会委員長　大藤隆司
三重県議会議員　山本りか

予算要望・提言を一見知事に

３・１１福島原発事故から１１年目
「原発いらない」「戦争はやめて」
県民の皆さんと共に行動します

街頭からの議会報告は
毎週行っています

制税改正　金持ちばかりがまた金持ちになっていく　こんな社会でいいのですか

4月から、給与を3%以上増加させた企業に対して法人税を減額する「賃上げ減税」が追加されます。

2013年から実施されており、減税総額は2兆円を超えています。

2012年と2020年の実質賃金を比較すると、22万4千円の減（4・8%の減）で、目立った賃上げ効果は出ていません。最低賃金も10年間でわずか193円（全国平均）しか上がっていません。

しかも法人税は利益にかかる税、赤字経営の企業は対象外。「賃上げ減税」の恩恵を受けるのは、ほとんど利益が上がっている大企業です。

コロナ禍でも470兆円という過去最高の内部留保をため込んでいる大企業に減税が必要でしょうか。

内部留保の積み増しに回された減税分は、必要のなかった減税です。

優遇を重ねるのではなく、内部留保を使って賃上げに回すように強く求めるべきです。

自公政治で、富が一部の大企業や富裕層に偏在し、社会全体にお金が回らなくなりました。人を使い捨てにする冷たい経済をやってきた結果、成長しない国になってしまっています。

人を大切にする、人にやさしい経済こそ、本当の意味で強い経済であり国民本位の成長戦略です。

小型バス自動運転の視察

三重県議会広聴広報会議と芸術・文化振興三重県議会議員連盟では、県民のみなさんから親しまれ開かれた県議会をめざす取組の一つとして、3月24日、議場内で初めて演奏会を開催しました。

皇學館大学雅楽部の学生さんによる「豊栄の舞」

山本りか議員の毎日は、FBでご覧ください

https://www.facebook.com/rika.yamamoto.3382

はじめました

日本共産党三重県議会HP
議会活動はこちら
http://kengidan.jcp-mie.jp/

卒業するみなさんへ

ご卒業おめでとうございます。心をこめての祝福と、あなたの未来へのエールを送ります。決められた運命などないのです。あなたの願いと行動があなたを創り、あなたの歴史を紡いでいきます。将来、もっとステキなあなたに会えますように。そして、命より大事な価値はありません。なにより命です。力で他者を支配しようとする戦いほど愚かなものはありません。街を壊し、人を壊し、文化を壊します。

これまで、保護者のみなさんや先生方、地域のみなさんで大切に育んできたあなたです。困難もあるでしょう。疲れることもありますね。大丈夫。あなたのまわりには助けてくれる人が、きっとたくさんいます。

私も　みんなも　あなたの応援団です。

山本りか

～　共に幸せを産み出すために頑張ります　～